

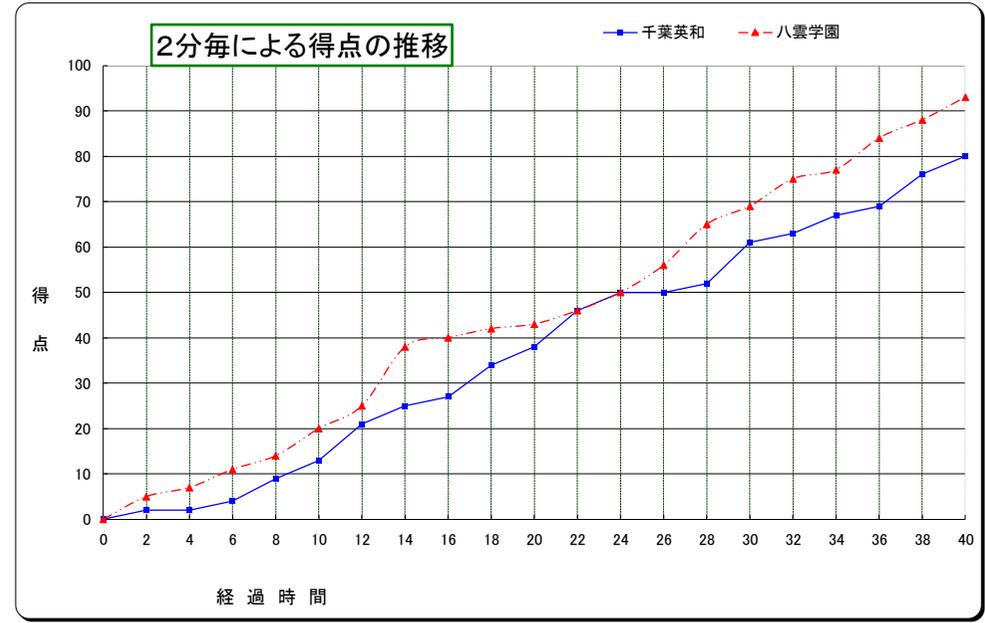
平成24年度第66回関東高等学校 女子バスケットボール選手権

平成24年6月9日(土)
さいたま市記念総合体育館
Aブロック第1回戦

チームA 千葉英和 (千葉)	80	{ <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="text-align: right;">13</td><td>1st</td><td style="text-align: left;">20</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">25</td><td>2nd</td><td style="text-align: left;">23</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">23</td><td>3rd</td><td style="text-align: left;">26</td></tr> <tr><td style="text-align: right;">19</td><td>4th</td><td style="text-align: left;">24</td></tr> </table> }	13	1st	20	25	2nd	23	23	3rd	26	19	4th	24	93	チームB 八雲学 園(東京)
13	1st	20														
25	2nd	23														
23	3rd	26														
19	4th	24														

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	坪内 瑠愛	20	1	2	7	14	3	4	4	2	5	1	0	0	6
5	宮坂 桃菜	12	1	3	1	4	7	8	2	1	7	3	7	0	5
6	寺田 亜香奈	7	1	1	2	6	0	0	2	0	0	1	1	0	2
7	川名 沙弥	0													
8	永森 悠加	2	0	0	1	2	0	0	1	1	4	1	1	1	1
9	若松 優津	0													
10	星 香那恵	10	0	0	5	14	0	0	4	0	5	4	1	0	2
11	古川 真子	16	0	0	8	14	0	0	2	0	6	3	1	0	5
12	齋藤 由起	0													
13	月岡 優里	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
14	萩原 美穂	2	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
15	小林 優香	9	0	0	3	5	3	4	2	1	2	1	0	0	1
16	先崎 里南	0													
17	山下 志織	0													
18	笠井 萌々子	2	0	0	1	2	0	0	5	0	1	1	0	0	0
コーチ	森 村 義 和									1	1				1
		80	3	6	29	63	13	16	22	7	32	15	11	1	23
		確率	50.0%		46.0%		81.3%			計 39					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	奥田 花	20	1	5	6	14	5	6	2	3	3	3	5	3	9
5	大竹 沙樹	30	4	11	6	9	6	11	3	3	7	1	2	2	1
6	長谷川 恵	0													
7	妹尾 亜衣美	17	3	6	1	3	6	7	4	3	5	4	5	0	5
8	青山 かりん	0													
9	高橋 美帆	20	1	3	8	12	1	7	1	6	7	5	2	0	5
10	梅木 杏夢	0	0	3	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0
11	曾根川 幸	6	0	2	3	7	0	0	3	0	2	3	4	1	3
12	浅野 真結子	0													
13	亀井 悠梨乃	0													
14	木下 璃子	0													
15	宇田川 遥菜	0													
16	岡崎 帆南	0													
17	山田 千沙希	0													
18	伊藤 波音	0													
コーチ	高 木 優 子									3	6				0



戦評

第1P 両チームともハーフコートマンツーマンでゲーム開始。序盤、八雲学園は#9高橋のゴール下や#5大竹の3Pなどでリードを奪う。対する千葉英和はオフェンスミスが多く、中々得点に結びつかず、7対2となったところでタイムアウト。
タイムアウト後、千葉英和はディフェンスをオールコートに変え、プレッシャーを強くすると、徐々にオフェンスのリズムが良くなり、#4坪内、#11古川などで得点を挙げるが、八雲学園は#9大竹が3Pを含む9点を挙げ追従を許さない。20対13で八雲学園7点リード。

第2P 千葉英和はディフェンスでプレッシャーをかけ、持ち前の早い展開に持ち込み、#4坪内、#8永森のゴール下などで点差を詰めるが、八雲学園は#5大竹の連続3Pなどで対抗し、逆に点差を13点に広げる。その後、千葉英和がルーズボールなどに頑張りをみせ、#10星の2P、#15小林のドライブインなどで点差を5点にまで詰め前半終了。

第3P 千葉英和は引き続きオールコートでプレッシャーをかけミスを誘い、#11古川の速攻、#4坪内の連続得点などで同点とする。一気に千葉英和のペースになるかと思われたが、ここで八雲学園は#7妹尾、#5大竹が得点を挙げ踏ん張り、逆転を許さない。
その後は一進一退の攻防が続くが、少し疲れの見える千葉英和にオフェンスミスがあり、八雲学園8点リードで3P終了。

第4P 八雲学園は#7妹尾の3P、#4奥田のバスケットカウントで点差を12点とするが、千葉英和も#4坪内のタップシュートなどで再び一桁差に戻す。両チームとも我慢比べが続く中、高さに勝る八雲学園がゴール下で優位に立ち、フリースローを決め点差を開いていく。最後の力を振り絞り、ボールを奪いにくい千葉英和に対し、八雲学園は冷静にボールを運び試合終了。

		93	9	30	24	47	18	31	15	20	30	16	18	6	23
		確率	30.0%		51.1%		58.1%			計	50				

主 審 北島 寛臣

副 審 遠藤 悟史

記入者 中山田 泰隆